

がんばろう！東北

● 津波堆積土を活用して沈下した岸壁の嵩上げ工事を実施 ～仙台港区中野地区岸壁(水深10m)災害復旧工事～

塩釜港湾・空港整備事務所では、仙台港区中野地区岸壁(水深10m)災害復旧工事において、東日本大震災の津波により陸上に打ち上げられ、堆積した軟弱土を活用した試験工を行います。

工事に活用するのは、石巻港周辺に集積された津波堆積土中の瓦礫分を取り除いた土に、鉄鋼スラグ製品(製鉄副産物であるスラグを加工したもの)を混合し、工用土砂としての強度と成分を確認した改良土です。

○ 改良土活用の経緯・目的

- ・改良土は新日本製鐵(株)が平成23年9月に、仙台市内で津波堆積土の改良実験を行った際に製造した140t(80m)で、同社から港湾工事での活用の要請がありました。
- ・改良土は、工用土砂として品質・強度等、問題が無かったことから、震災で発生した津波堆積土の早期処理に貢献出来るものと考え、試験的に活用するものです。

○ 工事の公開・説明

- ・平成24年1月19日(木)午前10時30分に仙台港区内の工事現場(別紙参照)において工事の状況を公開のうえ説明致します。
- ・取材希望の方はE-mail又はFAX(別添様式)により、所属、氏名、連絡先を記載のうえ平成24年1月18日(水)午後5時までに申し込み下さい。

【発表記者会:宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会】

【申し込み・問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所

ホームページ: <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/shiogama/>

E-mail: info-s82ah@pa.thr.mlit.go.jp

企画調整課 渡部、工藤

TEL 022(362)9512

FAX 022(361)3255

記者発表資料: [PDF](#)

カルシア系改良土については下記ホームページで公開しています。

<http://www.nsc.co.jp/>